

平成30年度 第2回 伊万里市水道審議会議事録

1. 日 時：平成31年2月18日（月） 15時00分～16時00分
2. 開催場所：水道部内会議室
3. 出席者：
 - (1) 委員：力武委員、山口委員、崎田委員、吉田委員、松永委員、前田成利委員、吉岡委員、前田鈴子委員
(桑原委員、田中委員、吉富委員は都合により欠席)
 - (2) 事務局：中里部長、杵嶋副部長(兼)管理課長、原口工務課長、古賀浄水場管理事務所長、末石管理副課長(兼)管理係長、吉永工務副課長(兼)工務係長、古竹営業係長、小寺浄水係長、鶴田維持係長、山崎水道施設係長、椛島管理係員、片山管理係員
 - (3) 傍聴者：なし
4. 内 容：
 - (1) 開会
 - (2) 水道部長のあいさつ

皆さん、こんにちは。水道部長の中里と申します。よろしく申し上げます。

本日は、公私ともにお忙しい中、水道審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃より伊万里市の行政運営、特に水道行政につきまして、特段のご理解、ご協力をいただいておりますことにこの場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

この水道審議会につきましては、条例により「水道事業管理者の諮問に応じ、水道事業に関する重要な事項について調査及び審議する」とされております。

今回の審議会では、会議次第の議事にありますように、まず一つが平成29年度水道事業特別会計の決算について、二つ目が平成31年度水道事業特別会計の予算となっております。

説明に際しましては、分かり易い説明に努めたいと思っておりますが、専門用語等もあり、内容等に不明な点がございましたら、忌憚のないご意見をいただければと思っております。

それではさっそく次第に沿って進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。
 - (3) 会長及び副会長の選任

委員提案により事務局一任となったため、事務局案として、会長に松永委員、副会長に力武委員を提案し、出席の全委員の了承を得る。
 - (4) 会長のあいさつ

今ご紹介をしていただきました商工会議所の松永と申します。慣れない役ではございますけれど、皆様方のご協力のもと職務遂行を務めさせていただきたいと

思います。

皆さんもご存じのように、既存施設の老朽化ということで新聞でも全国的な話が載っていたかと思います。これについては後程議事の中でお話があるかと思えます。このような施設の更新など、多額の費用が見込まれ、財政難で不況になっている地方自治体の水道事業の運営を委託できるということで、改正水道法が年内に施行され、新聞に載っていたかと思えます。

しかし安心安全の水を確保していくためには、我々市民が日頃見守っていく必要があるのではないかと思います。昨年度の一般質問の中で、伊万里市長さんは重要性を感じておられ、現在の財政でしていきたいというような表現をされていたかと思えます。

現在の市直営の方式に個人的には賛成をいたしております。考え方はいろいろとありますので、またいろんな貴重なご意見をお願いできればと思います。

海外旅行に皆さんも行かれたことがあると思いますが、海外は安心して水が飲めない、どこに行っても水は有料料金で飲むということで、水を飲むよりもビールを飲もうと、我々も旅行に行ったときはそうあるわけですけど、やはり伊万里の場合は、安心して無料でいつでも飲めるという安心感をぜひ伊万里市の方で授与していただきたいと思います。

この水道審議会は重要な役割をもっていますし、今日の会議で事務局の方もいろんな報告等がありますけれど、忌憚のないご意見を出していただき、今日の会議が意義あるものにしていただければと思います。今日はよろしくお願ひします。

(5) 副会長のあいさつ

私は水道の方にお世話になっていましたけれど、退職して8年になりますので、だいぶ水道のことを忘れております。

会長さんが先程おっしゃいましたように、水道を取り巻く環境というのが、昔いた頃よりも厳しくなっています。少子高齢化による人口減少も段々顕著になってきています。

先程も言われましたように、施設の水道管の老朽管が進んでいる中で、やはり市民にとって水道はライフラインでございますので、それを維持するのが水道部の使命と思っています。力になればと思いますので、よろしくお願ひします。

(6) 議事

会長による議事進行（質問は最後に一括して受け付け）

- ① 副部長(兼)管理課長より平成29年度水道事業特別会計の決算について説明
(審議会資料P1-2)
- ② 工務課長より主な建設事業について説明（審議会資料P1）

・委員より

今までの委員会の中でもあったように、管路は500 kmをこすというふうにな

れているわけで、そのうち改良されていたのが6割ほどあったと説明されていました。これを布設替するためには100年以上かかるという話があったわけですが、老朽管の布設替は毎年どのような形でされているわけでしょうか。

【事務局】

これについては、今回あとで更新計画の方でご説明いたしますけど、それと同じく事前計画で、1年度に2億円ずつの配水管の改修、これは改良ばかりではないですけど、老朽管の布設替、新設等を予定しております。

今年度の管路の更新計画として、あと2億円程度予定しております。

・副会長より

今ご説明されました経営状況ですけど、一点だけ。料金回収率はわかりますか。料金の回収率です。供給単価に対しての。

【事務局】

給水原価は、平成29年度が229円99銭です。ちなみに平成28年度が218円25銭です。29年度のほうが11円74銭高かったですね。

・会長より

料金回収率そのものはどうなっていますか。

・委員より

料金回収率はですね、100%超えてないといけないものですね。

【事務局】

29年度の決算では、料金回収率は後程回答いたします。

③ 副部長(兼)管理課長より平成31年度水道事業特別会計の予算について説明
(審議会資料P3)

④ 工務課長より主な建設事業について説明

*質問なし

【事務局】

先ほどの料金回収率ですけど、平成29年度は99.28%です。

・副会長より

給水原価は先ほど説明がありましたが、供給単価はどのくらいになりますか。

【事務局】

供給単価ですけど、伊万里市は228.4円になります。

・会長より

それでは水道審議会については、これを持ちまして終了したいと思います。ありがとうございました。